



二上『むかしの うたを 読もう』(54ページ)



その ほかの 「言葉あそび」

とりなうた

『いろはうた』と 同じように、かなを くりかえさずに つかった、べつの うたも あります。

とり なく こゑす^(エ) ゆめ さませ
 みよ あけわたる ひんかしを^(ガ)
 そら いろ はえて おきつへに^(ベ)
 ほふね ぬれぬ^(イ) もやの うち

あさがお
 (かわりに「ききょう」を入れることもある。

七草を^{ななくさ} おぼえよう

春の 七草

せり、なずな、
 ごぎよう、はこべら、
 ほとけのぎ、
 すずな、すずしろ、
 これぞ 七草

秋の^{あき} 七草

はぎ、あさがお、
 くず、おみなえし、
 ふじばかま、
 おばな、なでしこ、
 これぞ 七草

「すずな」は かぶ、「すずしろ」は だいこんのことです。

一月七日に、春の 七草をおかゆに 入れ、食べる ちいきが あります。

おひがんに 食べる「おはぎ」は、はぎの 花の名前^{なまえ}から つけられたとも いわれて います。

「くずもち」は、くずの根^ねから とれる くずこをつかって 作^{つく}られます。